

事業評価シート（令和4年度実施事業）

事業名	（義務） 基本研修
-----	------------------

1. 事業の整理（「どのような成果を期待して何をどのように行っているのか」その事業の目的等）

目的・必要性	<p>基本研修計画書に基づき、経験年数・職務内容に応じて必要となる知識・技能等を習得させることにより、教職員としての資質・能力の向上を図り、もって本県教育の充実・発展に寄与する。</p>
概 要	<p>① 若年教員研修1年目（小・中・義・特）《4回》 （養護教諭）《2回》 （栄養教諭）《3回》 ※ 第1回は在籍校でのオンデマンド型研修</p> <p>② 若年教員研修2年目（小・中・義・特・養護・栄養） 《1回》</p> <p>③ 若年教員研修3年目（小・中・義・特・養護・栄養） 《1回》</p> <p>④ 中堅教諭等資質向上研修（小・中・義・特・養護・栄養） 《4回》</p> <p>⑤ エキスパート教員研修（小・中・義・特） 《1回》</p> <p>⑥ 新任生徒指導主事研修（中・義・特） 《1回》</p> <p>⑦ 新任教務主任研修（小・中・義・特） 《1回》</p> <p>⑧ 新任校内研修担当者研修（小・中・義・特） 《1回》</p> <p>⑨ 新任進路指導主事研修（中・義・特） 《1回》</p> <p>⑩ 新任学年主任研修（小・中・義・特） 《1回》</p> <p>※すべて半日開催 計 10研修</p>
内容 (誰がどのように 何をやるのか)	<p>「令和4年度義務基本研修実施要項」に基づき、上記各研修会を次のとおり実施した。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・テキスト等の研修資料は各研修主務者及び講義担当者が作成 ・各回の研修は、事前研修としてのオンデマンド研修と組み合わせて集合型での半日開催 ・オンデマンド研修のための動画コンテンツ及び研修資料をHPで配信 ・各研修実施後は、研修内容を今後の教育実践に生かすために、「研修のまとめ」としての研修修了アンケートを受講者に実施 ・研修修了アンケートは電子化による対応

2-1 評価指標 (総括的評価を行うに当たり運営基本方針に基づき立てた評価指標)

方針	具体的方策	達成指標	実績値
1 事業の効果的・効率的な運営を実現する連携・協働の強化	・関係教育機関との定期的な連携調整の場の設定	・若年教員研修の研修修了レポートの内容を教育事務所に情報提供	○教育事務所への提供 10 回 (若年 1 年目)
	・研修の内容・方法の適性化を図る協議の定期開催	・研修内容の協議【10 研修】	◎全研修において開催 2 週間前に実施
	・ICT 活用等の環境整備による効果的・効率的な研修運営	・受付名簿の電子化及び各教育事務所とのデータ共有	◎センターの窓口を明らかにすることにより、教育事務所との欠席連絡のやりとりが効率的になった。

2-2 評価指標 (総括的評価を行うに当たり運営基本方針に基づき立てた評価指標)

方針	具体的方策	達成指標	実績値
2 事業の継続的な質的向上を実現する運営システムの構築	・育成指標に基づいた研修の企画、実施、評価	・育成指標に基づくシラバスの作成【10 研修】	◎全研修で作成することができた。
	・動画コンテンツ及び配信資料の作成と活用による、研修時間の削減 (全研修半日開催)	・動画コンテンツ及び配信資料の共有 (総研修 10 研修のうちすべてで実施) ・動画コンテンツ及び配信資料を取り入れた研修の実施に伴い、研修時間の削減 (全研修半日開催)	◎HP による資料の配信 (全研修)
	・ICT 活用等の環境整備による効果的・効率的な研修運営	・動画コンテンツ及び配信資料を活用した研修計画の検討 【若年研 1 年目】 (動画コンテンツ : 7) (事前視聴動画及び配信資料 : 8) 【若年研 2 年目】 (事前視聴動画及び配信資料 : 3) 【若年研 3 年目】 (事前視聴動画及び配信資料 : 0) 【中堅研】 (事前視聴動画及び配信資料 : 7) 【エキスパート教員研】 (事前視聴動画及び配信資料 : 2) 【新任主任主事研】 (事前視聴動画及び配信資料 : 1)	○事前動画及び資料とつなげた当日の研修内容の構築

	<ul style="list-style-type: none"> 研修の成果と課題を明らかにし、改善につなげるリフレクションの実施 	<ul style="list-style-type: none"> 研修後のリフレクションの実施及びデータによる記録の保存【10研修】 	<ul style="list-style-type: none"> ○研修後、リフレクションを実施し、次の研修の運営、内容作成に活かした。
	<ul style="list-style-type: none"> 研修対象者による研修修了レポートの結果による運営の改善 	<ul style="list-style-type: none"> 研修修了レポートの確実な実施と部会員による内容の共有【10研修】 	<ul style="list-style-type: none"> ○レポート内容を踏まえた運営方法の改善

2-3 評価指標 (総括的評価を行うに当たり運営基本方針に基づき立てた評価指標)

方針	具体的方策	達成指標	実績値
効果的・効率的な広報活動の充実	<ul style="list-style-type: none"> 教育センター各事業のPRや成果物の情報発信の推進 	<ul style="list-style-type: none"> 研修オリエンテーションでの資料配布による、各事業のPRや成果物の情報発信(全研修) 	<ul style="list-style-type: none"> ◎全研修でPRを行った。
	<ul style="list-style-type: none"> 研修の成果還元や内容の復習が可能な研修資料等の提供 	<ul style="list-style-type: none"> 各研修で作成、配布した資料をHPにて配信 	<ul style="list-style-type: none"> ◎全ての研修で、使用したスライドや演習シートをHPにて配信した。
	<ul style="list-style-type: none"> サポート・シリーズによる教育資料の配信 	<ul style="list-style-type: none"> 支援部と連携し動画配信を推進(サポート・シリーズ3教科) 	<ul style="list-style-type: none"> ○サポート・シリーズにて教科の研修を配信(3教科)

3. 総括的評価 (評価指標の実績を基に必要性や有効性を総括的に評価)

方針	方策内容	評価	判断理由
1	<ul style="list-style-type: none"> 関係教育機関との定期的な連携調整の場の設定 研修の内容・方法の適性化を図る協議の定期開催 ICT活用等の環境整備による効果的・効率的な研修運営 	4	<ul style="list-style-type: none"> 受講者や研修の状況を定期的に各教育事務所に連絡することで、きめ細やかな対応をとることができた。 動画コンテンツ等を踏まえた上で研修の内容を作成したため、集合の研修では演習・協議に特化して研修を行うことができた。 受付名簿、研修修了レポートの電子化により業務負担の削減や各教育事務所との欠席者の情報共有等、効果的な運営を行うことができた。
2	<ul style="list-style-type: none"> 育成指標に基づいた研修の企画、実施、評価 動画コンテンツ及び配信資料の作成と活用による、研修時間の削減(全研修半日開催) ICT活用等の環境整備による効果的・効率的な研修運営 研修の成果と課題を明らかにし、改善につなげるリフレクションの実施 	4	<ul style="list-style-type: none"> シラバスの作成及びオリエンテーションでの周知によって、体系的に実施されていることの共通理解を図ることができた。 研修の内容・方法の協議やリフレクションを行うことで、研修内容等を実態に合わせて更新することができた。 修了レポートの内容を共有することで、受講者のニーズに応じた研修の運営を行うことができた。

	<ul style="list-style-type: none"> 研修対象者による研修修了レポートの結果による運営の改善 		
3	<ul style="list-style-type: none"> 教育センター各事業のPRや成果物の情報発信の推進 研修の成果還元や内容の復習が可能な研修資料等の提供 サポート・シリーズによる教育資料の配信 	3	<ul style="list-style-type: none"> 研修の諸連絡でHP及びインスタの紹介を行った。また、資料配付も合わせて行うことができた。 研修資料のHPでの配信は行うことができた。

※ [評価] 4：妥当 3：ほぼ妥当 2：要検討 1：不十分

4. 課題・問題点 (以上の自己点検・評価結果から見えてくる課題・問題点)

方針	方策内容	課題・問題点
1	<ul style="list-style-type: none"> ICT活用等の環境整備による効果的・効率的な研修運営 	<p>【動画コンテンツ等の効果的な活用】</p> <p>事前配信動画、事前配信資料を各関係機関と共有することや、動画コンテンツ等の集合研修への活用方法などの充実を図る必要がある。</p>
2	<ul style="list-style-type: none"> 研修の内容・方法の適性化を図る協議の定期開催 研修の成果と課題を明らかにし、改善につなげるリフレクションの実施 	<p>【研修内容の質の向上】</p> <p>改訂された育成指標に基づいて研修内容を充実させる必要がある。そのための方法として、事前打合せ会の運営の見直しや改善を図る必要がある。</p>
3	<ul style="list-style-type: none"> 研修の成果還元や内容の復習が可能な研修資料等の提供 サポート・シリーズによる教育資料の配信 	<p>【研修内容の還元】</p> <p>令和4年度は、研修で使用したスライド等をHPに挙げた。次年度以降も継続して行うことが望ましい。校内での活用がスムーズにできるように、見つけやすさ、分かりやすさなどには改善が必要である。</p>

5. 令和5年度の改善及び進捗状況

(課題・問題点に対し、令和5年度の事業に反映させた改善点及びその進捗状況)

方針	方策内容	改善状況
1	<ul style="list-style-type: none"> ICT活用等の環境整備による効果的・効率的な研修運営 	<p>事前配信動画及び、事前配信資料が、当日の集合研修のどの部分に位置づいているのかを、研修概要シート等で明確にしていく。また、動画コンテンツの内容の改善も図っていく。</p>
2	<ul style="list-style-type: none"> 研修の内容・方法の適性化を図る協議の定期開催 研修の成果と課題を明らかにし、改善につなげるリフレクションの実施 	<p>研修内容の質の向上のために、改訂された育成指標を基にして内容を改善していく。受講者が手にする研修テキストに改訂された育成指標を掲載し、共有を図る。事前打ち合わせ会においては、全員で関われるグループ協議にするなど、協議の在り方を改善する。</p>
3	<ul style="list-style-type: none"> 研修の成果還元や内容の復習が可能な研修資料等の提供 サポート・シリーズによる教育資料の配信 	<p>HPに掲載する資料を活用できるように、各関係機関に周知をするとともに、資料の見つけやすさ、分かりやすさを改善する。また、研修オリエンテーションや研修後の諸連絡において、受講者にアナウンスをするなどの広報活動に取り組む。</p>

令和6年度以降に向けた事業改善一覧表【基本研修(義務)部会】

事業評価委員会委員の意見(課題・問題点等) 要旨	左の意見に対する対応方針 (該当項目に■印) (□R6年度に改善する □中期的(2~5年)に改善する □(5年以内の)対応は困難)
義務基本研修については、動画コンテンツ等の効果的活用について、配信環境は整備されたため、今後は、視聴者数を増やすことに力を入れて欲しい。	□R6年度改善 □中期的改善 □対応困難 □HP掲載は不要 ■R5対応済 ホームページ活用の案内をチラシやスライド等で受講者に示すなどして動画コンテンツの活用促進を図っており、今後ともこうした活用促進を継続していくこととしている。
義務基本研修については、福岡県教員育成指標に基づいた研修内容の充実のため、学校現場の声が反映されるよう工夫することが必要。	■R6年度改善 □中期的改善 □対応困難 □HP掲載は不要 R5年度の研修修了レポート(受講者アンケート)を基に、次年度の研修内容を改善していくこととしている。
義務基本研修については、R6年度以降の国のプラットフォーム化を見据え、従来の講義・演習方式とは異なる課題解決型の研修内容に転換してはどうか。	□R6年度改善 ■中期的改善 □対応困難 □HP掲載は不要 1年間で複数回行われる研修においては、研修方式等を柔軟に捉え、今後、研修内容の充実を図っていくこととしている。
義務基本研修については、福岡県教員育成指標に基づき、研修の企画・実施・評価をより充実させ、新研修体制との連動が見える分かりやすいものにしてほしい。	■R6年度改善 □中期的改善 □対応困難 □HP掲載は不要 義務基本研修では、引き続き、福岡県教員育成指標を踏まえた研修内容の充実を図っていくこととしている。
研修内容の「振り返り」も大切だが、所属校において、研修内容を還元することが非常に重要である。	□R6年度改善 □中期的改善 □対応困難 □HP掲載は不要 ■R5対応済 義務基本研修においては、研修成果の所属校への還元のため、受講者全員に還元方法に関して修了レポートに記載するようにしている。
義務基本研修については、働き方改革や新たな研修体系を考慮し、より多くの教員が受講できるよう、受講者が、集合研修、オンデマンド研修、オンライン研修の、どの研修形態で受講するかを選択できるような仕組みを考える必要がある。	■R6年度改善 □中期的改善 □対応困難 □HP掲載は不要 義務基本研修では、事前の動画配信や資料配布を行うことで当日の研修時間を短縮し、半日開催の研修とするなどの取組を行っているところであり、R5年度の成果と課題を踏まえ、改善を図っていくこととしている。
義務基本研修については、オンラインでの研修が増えるよう工夫してほしい。	
義務基本研修については、学校における指導技術の維持・向上に向け、特に授業研修や教科別研修等における具体的な指導技術に関する研修や授業改善への「気付き」を促す研修のさらなる推進をお願いしたい。	■R6年度改善 □中期的改善 □対応困難 □HP掲載は不要 基本的な授業づくりに関する研修や各教科等の特性に応じた研修は、今後も基本研修として継続して実施していく必要があると考えており、R5年度の成果と課題を踏まえ、次年度の内容がより充実するよう、内容の検討を行うこととしている。

<p>事業評価委員会委員の意見(課題・問題点等)要旨</p>	<p>左の意見に対する対応方針 (該当項目に■印) <input type="checkbox"/>R6年度に改善する <input type="checkbox"/>中期的(2~5年)に改善する <input type="checkbox"/> (5年以内の)対応は困難</p>
<p>義務基本研修については、福岡県教員育成指標に照らした各研修の位置付けの明確化や対面研修とオンライン活用とのベストミックスが求められている。</p>	<p>■R6年度改善 <input type="checkbox"/>中期的改善 <input type="checkbox"/>対応困難 <input type="checkbox"/>HP掲載は不要 義務基本研修においては、全ての研修において、福岡県教員育成指標を踏まえた研修目的を周知することとしている。また、オンライン研修の活用については、事前の動画配信や資料配布を行うことで当日の研修時間を短縮し、半日開催の研修とするなどの取組を行っているところであり、R5年度の成果と課題を踏まえ、更なる改善を図っていくこととしている。</p>